

実施プログラム例(令和4年度鶴嶺小学校4年生)

※実際のプログラムは、先生方と打合せをし、詳細の内容を決定します。

STEP1 市職員による教室

- 授業時間:90分
内 容:座学+体験
・市職員が日常生活等での困りごとについて説明
・体験を交え市と児童との距離を縮める
・障がいについて学ぶきっかけづくり



体感でのきっかけづくり

STEP2 障がい者との交流教室

- 【1日目】
授業時間:55分
内 容:障がい者との交流
→班別行動
・挨拶・自己紹介
・困りごとのある場面や状況を児童から質問
・声かけの仕方や対応方法を学ぶ



少人数での対話を重視

- 【2日目】
授業時間:45分
内 容:障がい者との交流
→班別にレクリエーション
・相手の障がい特性を踏まえたうえで児童が考えた遊びやゲーム等を実施
・一緒に楽しみ、気分が高揚することでお互いの理解を促進



他教科とのつながりやすさ

STEP3 児童による発表

- 【授業参観時に発表】
・班毎に新聞形式にまとめて発表
・発表を聞いていた児童、保護者から感想を聞く
・児童の学びを家庭へも展開
【市役所・公民館で掲示】
・発表物を公共施設で掲示

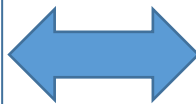


思いやりの気持ちを醸成

役割分担

学校の先生

- ◆ 教室確保
- ◆ 校内日程調整
- ◆ 班編成
- ◆ 教室後の振返り



市役所

- ◆ プログラム作成
- ◆ 教材準備
- ◆ 障がい当事者との日程調整
- ◆ 当日の進行
- ◆ 掲示場所の提供 など

お気軽にご相談ください

【問合せ先】茅ヶ崎市 都市政策課 交通計画担当 木村(不在の場合は佐々木)
TEL:0467-81-7181
メール:toshiseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp